



目次	(ページ)
1. 大三先生の掘り出し記事発見！！	松谷 茂 (1)
2. 船田さんを思う。	杉田隆則 (2)
3. 船田さんの思い出	藤好真也 (2)
4. 新宿ゴーゴー広場のチャリティーショーに参加	松谷 茂 (3)
5. <b>今年の発表会は、10月11日(木)です。</b>	事務局だより (5)



## 1. 大三先生の掘り出し記事発見！！

松谷 茂

東京都が広く都民向けに発行している小冊子「とうきょう広報」の昭和57年1月号に大三先生の署名入り記事を発見しました。同誌の編集に携わったことのある元東京都総務局の方のかすかな記憶が縁でその記事を掘り出していただきました。

同冊子の「私の東京」というコラムページ(p20~21)で、「指笛に生きて47年」、「指笛音楽創始者・東京音楽奉仕団代表 田村大三」となっています。

書き出しは、「おお東京都よ、私はこの稿を進めるに当たり、まずここまで私を育て下さったことに対し、有り難う……と心からお礼を致します。」で始まります。引き続いて、「秋田県の片田舎で生を受けた私は、小学校高等科を終えた14歳で上京。その頃、社会教育の先駆者として活躍しておられた後藤静香師の学校で4年間勤労教育を受けました。後、救世軍士官学校に進みましたが、後2ヶ月で卒業という時に肋膜炎を再発し、郷里に帰って何ヶ月かを悶々の内に過ごしました。しかし、幸い健康を取り戻して再び上京宣教会ホーリネス教団より福音使(牧師)に任命されて、任地南米ブラジルに渡るべく、喜び勇んで神戸の移民収容所まで参りましたが、健康診断の結果は不合格で、泣く泣く三度東京の人となったのが昭和9年の5月でした。

大きな悩みの中にも真剣な祈りの日々が続きましたが、ついに『われこれが為に生まれたり』の確信が与えられ、指笛の楽人として神田神保町の街頭に立ったのです。

(中略) 田村大三を今日まで育てくださった大東京都に心から感謝を捧げるものです。私は、本籍も東京都に移し、骨も東京都に埋めるべく、30年も前に都の小平霊園の使用許可をいただきました。歳月は流れ流れて私が東京の住人になってから54年になります。東京都よ本当に有難う。」と続きます。(後略)

この記事を書かれたことも、「三度東京の人となった」との言い方も先生の口から聞いたことはありませんでした。この記事で初めて先生の深い思いとして知ることができました。

ところで楽友会会員の皆さんは、それぞれにとってこの記事が載った昭和57年頃  
は大三先生の指笛音楽とはどういう距離感だったのでしょうか。先輩会員の中にはこ  
の記事に記憶のおありの方がおいでかも知れません。因みに平成元年に先生に出会っ  
た私は、知るよしもありませんでした。

## 2. 船田氏を思う。

杉田 隆則

指笛楽友会々員の船田弘子さんが3月21日に他界された記事を通信49号  
にて拝見いたしました。大変驚きました。1月にお会いしたときは元気そうで  
したから。本当に残念です。ここに、改めて故船田弘子さんのご冥福を謹んで  
心よりお祈り申し上げる次第です。

思い起こせば、船田さんは、故田村大三先生がまだ中野区に住んでいた頃か  
らの会友です。不自由な体でしたが熱心に練習されていました。「勉強家」の  
イメージを当時持ったものです。

ある時、帰路新宿方面迄ご一緒したとき、ホームへの上り階段で透かさず、  
松葉杖一本と一方の片手で手摺りを掴み、登り始めた時咄嗟の機転が利かず失  
礼を演じた自分が情けなかった事を今も思い出します。

その後、暫くたってからお会いした時は車椅子を使っておりましたが、不自  
由であってもそれを感じさせない雰囲気がありました。指笛や音楽に対する船  
田さんの気持ちや構えなどと共に生きる厳しさをも教えていただきました。

ステージでは、一昨年の大三先生追悼演奏会でご一緒したのが最後でした。  
その時は指笛は吹かず手話と歌でしたが穏やかな和らぎと丁寧な演技に注目さ  
せられました。人生、希望、喜怒哀楽などが織り混ざった輝きの風情を伴った  
空気がこちら側にも伝わって来ました。おそらく心の中ではあの時、指笛も一  
緒に奏でられていたことと、今更確信しているところです。

船田さん、お疲れ様でした。どうぞ安らかにお眠りください。

## 3. 船田さんの思い出

藤好 真也

楽友会員の船田弘子さんが今年の3月21日お亡くなりになりました。  
ご家族から楽友会員への連絡は葬儀後であったためご葬儀にも参列出来ません  
でした。ここに謹んで哀悼の意を表します。

私と船田さんとの出会いは、約20年前に田村先生宅を訪れた時のことでした。

当時は指笛を吹いておられました。その後毎月25の会でお会いし帰りは大  
泉学園の駅まで一緒に歩いて帰りました。

当時から歩行は困難で、私の友人の肩を借りて歩いていました。

そんなある時の帰路、大泉学園の駅に着きホームの最先端で待っていました。  
池袋駅での彼女の乗り換え時間を短くするためです。到着した西武線は車両が

少なく、必死でホーム中央まで戻りました。その間、何度もドアを閉めようとした車掌に「ちょっと待って！」とその都度お願いし、何とか待ってくれた運転手や車掌の姿も蘇ります。

彼女は全身に痛みや痺れがあり、24時間自分の手で手足をマッサージされていたそうです。大三先生も受けていられる姿を見たことがあります。

数年後、私が勧めて会員になった父と一緒に車で25の会に参加するようになったため、帰りは父の車で自宅までお送りするようになりました。その後、彼女は車椅子生活を送るようになりました。ご自宅に伺うとご主人も車椅子を使っておられたただただ頭が下がりました。

視力も徐々に衰えましたが、携帯電話を使いこなし、携帯の読み上げる自動音声を頼りにメールも出来ました。

ラジオもお好きで、NHKのラジオ深夜便を聞いて私がメールすると彼女もすぐに「私も聞いています。」と返事をくださいました。

一緒に湯島天神の節分祭へ行った時には、豆と一緒に力士の投げたミカンが彼女の顔に命中して痛い思いをさせてしまったこともあります。

お台場のフジテレビへ行き、大三先生、楽友会メンバーと共にテレビ出演したり、平塚の七夕祭りへ行ったりと様々な思い出が蘇ります。

指笛以外にも詩吟など様々な趣味があり、車椅子になっても度々外出され、行動力のある方でした。記憶力も抜群で、昔のさまざまな出来事も覚えていました。

視力が弱いため、私が車を運転中に、「今、××の近くを通っていますよ。」と言うと、そこは〇〇年前に通ったわ、当時その近くには××があつて△△が見えたのよ。今でもあるかしら？」等と昔の記憶を正確に語ってくれました。

私も今年の新年会で一緒に食事をしたのに、突然の訃報を聞いたときは驚きました。これからもいろいろな場面や場所で彼女のことを思い浮かべると思います。

船田さんのお人柄やご功績を偲びつつ、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

#### 4. 第38回 新宿ゴージャス広場のチャリティーショーへの参加

松谷 茂

7月8日、指笛楽友会として恒例となっている東京善意銀行友の会主催の新宿西口三井ビルのゴージャス広場でのチャリティーショーに参加しました。

このチャリティー演奏会は、今年で第38回目を迎えました。新宿のこの大舞台での演奏参加について簡単に紹介します。

38年前に当時東京善意銀行友の会の会長であった田村大三先生が直接三井不動産の社長江戸英雄氏にお願いしたところ「そういう趣旨の催し物であるならば55(ゴージャス)広場を無償で使ってください。」とのお言葉をいただいたことが始まりだっ

たことは知る人ぞ知るところです(通信34号に詳細掲載)。

今年も指笛楽友会の演奏に先立ち、田村大三先生のこのご功績及び一昨年先生がお亡くなりになったことが上記東京善意銀行友の会現会長の磯野輝雄氏から紹介されました。この大三先生のご功績が毎回紹介されることになったことは、我々楽友会としては嬉しい限りです。

今年も、東京リサーチ合奏団との共演はなくCDの伴奏でしたが当会関係の出演者と演奏内容は次のとおりでした。

まず杉田隆則さんが舞台を降りて会場を周りソロで演奏をされ、次に静海先生が「椰子の実」と「オーソレミオ」を歌唱されました。最後に中澤忍、有賀猛、藤好清晴、松谷茂、中村倫二、有吉潤子、斎藤秀元、有吉憲行、村山荘人、坂田泰行、杉田隆則の(写真左から)11名で「上を向いて歩こう」、「クワイ河マーチ」を合奏しました。

会場には、踊りのグループの熟女達も多く華やいだ雰囲気指笛音楽は皆さんに十分感じていただけた様子でした。上を向いて歩こうでは手拍子と共に思わず合唱する声もあちこちに上がっておりまして。会場の木陰で聴いている方々や、高架の通路上の人達からも盛んな拍手をいただきました。

会場は写真のような日本一の新宿超高層ビル街のまっただ中にあります。そんなビル街を今年も指笛音楽が千の風になって吹き渡っている感じでした。

我々指笛楽友会にとっても由緒ある主催団体のこんな大きな舞台で演奏できる機会は滅多にないものと思われまます。

大三先生のご尽力のお陰であることに感謝し、今後も参加を続けていきましょう。



門下生11名、体つきからご判断を



超高層ビルに  
千の指笛風が

同演奏曲はここのところ毎年「クワイ河マーチ(別名 ボギー大佐)」と「上を向いて歩こう」です。経験の浅い方でも心配なく参加できます。毎年7月第1週の日曜日に開かれる場合が多いようです。本通信でも適宜お伝えしますのでご注視ください。



## 5. 事務局だより、発表会は10月11日(木)!!。

### 1) 練習会・25の会の予定

- |                    |   |                 |
|--------------------|---|-----------------|
| ① 9月 1日(土) 総合練習第3回 | } | 13:00~17:00     |
| ② " 30日(日) 総合練習第4回 |   | U(ユ一)スタジオ       |
|                    |   | TEL03-3924-6455 |
|                    |   | 西武池袋線「大泉学園」駅    |

### 2) チラシの配付

武井洋子・栗田勲夫さんのご尽力で暫定枚数は送りました。不足の場合は、9月1日の上記練習会でも用意してあります。

(問い合わせ 武井洋子)

( " 松谷 茂)

### 3) 演奏曲の確定と一言集の原稿締切・・・9月1日までに !

曲の確定担当 中村倫二

一言集担当 竹中速雄

### 4) 発表会 10月11日(木)

時 { 集合 13:00 (開場準備、リハーサル等)  
程 { 開場 17:00 開演17:30 終演20:30

会 { 練馬文化センター TEL03-3993-3311  
場 { 練馬区練馬1-17-37  
西武池袋線・地下鉄有楽町線・大江戸線=練馬駅北口

### 5) 出演予定者

青山久美子 有賀猛 有吉潤子 有吉憲行 牛山宏隆 奥津恭子  
片山陽一 河津菊枝 倉木成伊知 斎藤秀元 坂田泰行 塩谷彰宏  
杉田隆則 武井洋子 竹中速雄 中澤 忍 中村倫二 藤好清晴  
藤好真也 松谷 茂 水沼武彦 村山壮人, 22名と田村ファミリー

### 6) その他

会員の垣花譲二さんより自分も国王として参加している「指笛王国おきなわ」の「第6回楽しい指笛の世界」と題して開催された行事のプログラムが送られてきました。いろいろ盛りだくさんの楽しい音楽会だったそうです。詳細は「指笛王国おきなわ」のホームページをご覧ください。(斎藤)

.....

編集後記(松谷 茂)今年は会場の都合でウイークデーの開催となりました。想定外事情も心配されますが来聴者へ誠意を持って進行・安全管理に努めましょう。次号は有吉さんです。原稿・情報がありましたらどうぞ・・・。